

座右書禮

天

番外書冊

書法林取集

和書門			
一	五	四	類
二	三	〇	號
二	九	〇	函
二	〇	〇	架
二	〇	〇	冊

內閣文庫			
和書			
九	五	四	類
八	五	四	號
一	一	四	函
三	一	四	架
三	〇	〇	冊

內閣文庫	
番號	和 15544
冊數	21 (7)
函號	198 182



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



淺草文庫

考正府右書禮部一目錄

一書狀經手七版之事

一因事淺解五版之事

一奉王君狀之事

一因御詔之事

一御内書附御詔之事

一奉書附御詔之事

一宛狀之事

一抄家元上狀之事

一法苑元上狀之事

一抄法外太在表上狀之事

- 一 門跡方上帳事
- 一 大中納言宰相上帳事
- 一 中将少将上帳事
- 一 諸大夫上帳事
- 一 上下北面上帳事
- 一 當時國持上帳事

一 書狀格式七段事

葉一紙五紙為段落事

十一 思之海之思物海之共

家目名

右段落格式奉王君親王及子之文之
字心認振行當事

御禮亦段落也

私日段落格式
 諸君書之江安
 諸君以事申立今川不後之段
 大館常具伊勢宗五段以一回也

上古、細川武清官領、由武田
位、信成、武田、相見、武田、
今世、持、武田、清、武田、
好、頗、守、武田、亦、交、
武田、武田、武田、武田、
亦、一、武田、武田、武田、
の、相、斗、有、武田、武田、

才二

了海、武田、武田、
武田、武田、
名字、官、
人、武田、

右、宛、不、名字、除、唐、名、書、武田、

敬也、名字、除、官、斗、斗、次、敬也、
投、露、快、次也、二、亦、及、斗、上、敬、武田、
爲、者、武田、坑、武田、文、武田、心、武田、
の、武田、名字、官、武田、書、武田、斗、武田、
武田、

返札

言、報、言、武田、武田、

才三

武田、武田、
名字、武田、
武田、武田、

右、末、輩、(武田、心、持、武田、武田、武田、武田、)

返、札、武田、武田、武田、武田、

中四 之海

各字及及沙

衣下鞞(高下海)

返札沙

中五 之海

各字及及

衣下鞞(相)

返札沙

中六 之海

各字及及

衣下鞞(服)

衣下鞞(之)

返札又沙

中七 之海

各字及及

衣下鞞(高下海)

返札之

返札又口

衣下鞞(高下海)

返札之

一 同車淺船五反半

中一

匠師技師と八反半或は五反半の
或は浅船に依り亦ハ以希なる

の有り候也

又同

中二

此は淺船
今ハ中 上付有

又

与貴沙被示

中三

乃ハ淺
沙船也

又

沙船

右車輪心高此船それハ或

左代下車輪用

中四

此ハ
舟也

又

舟也

中五

此ハ
舟也

又

舟也

是より中ありともいへば車輪

七反半ハ二反半の舟ハ或は舟也

舟ハ舟也

右車輪舟ハ五反半概ハ舟也

一奉之君成之事

为奉始之涉初後涉夫卫腰同光

涉焉一死能元涉洞万是波進之

涉是初之涉波初作也涉

名字宿

月日

名字判

究不殿

右略也

一因初結事

被覆初内書涉深高涉須戴初批注

涉是初亦好涉以涉會可涉根

涉波落以涉涉

名字宿

月日

名字判

究不殿

右言不涉涉涉涉又孰也

一奉書涉教書觸伏涉結事

涉不究

去云日初教書今月去初初至人初戴

涉能

抄一紙に作せ執事四筆の共意の
以首一紙抄出被取所は依公の御意

名字宿

月日

名示判

元可啟

右ノ上意ニテモヨク事出シテ事ニテ
亦知禁固ニ有願ノ書ニテ沙教書ト云
尚時ニモ也沙教書ニテ沙教書ト云
今表以絶也御状ハ大ニ沙教書ニテ用

二 宛状事

被取所ニ由ル事ト云フハ其ノ御意
存時ニテ解被取所候事ト云フハ
或沙教書ト云フハ其ノ御意ト云フ也
此則被取所候事ト云フハ其ノ御意ト云フ也
元状ト云フハ其ノ御意ト云フ也宛状事
上ノ事ト云フハ其ノ御意ト云フ也宛状事
御一

一 抄出元可啟事

葉執事御取所被取所候事ト云フ

月日

名字官

名字判

元新殿

教上人元
法更元

号持家事

近江殿

九條殿

二條殿

一條殿

御目殿

一法苑元上事

宋之親皇令廣法苑之遺

名字官

月日

名字判

元新殿

法更 教上人

号法苑事

律寺殿

右近衛殿

花山院殿

久我殿

兼寺殿

西園寺殿

持法海師殿

大正三ノ大將ヲ兼ルハ皆
法苑之七家ニ限ラズ

一按法外大名家之事

付事官宜取法心坊上之遺

名字官

月日

名字判

元新殿

名字官

平公孫の遺言に大長成ると亦一代成ると
有るに其の遺言の文解する事あり
依り

一 門跡方状事

一 門跡方状事

名字官

月日

名系判

宛所坊友

依今何縁に服部友をくつて之に法服を
云ハ門跡の家月名何縁に依るを云ハ

依時友

帝王の御嬪子、春宮御の御孫に
皇子皇孫なるれハ門跡と云前例あり
あり也若春宮崩御の時ハ御孫に
皇子春宮の御孫に依り心掛友
同意用之事也

一 大中納言宰相事

某心悟遠

名字官

月日

名系判

大納言殿

中納言殿

宰相殿

大御中

世に官位人按察状知事なり
某は後進除之但式正時某
の流也

一中納言殿之事

心悟流之

名字宿

名字判

月日

名字友友
公後之全致

式正心悟流之

後代人申之

一法太史公之事

心悟流之

名字宿

名字判

月日

名字宿友
公後之全致

一北面下因系

心悟流之

名字官

名系判

月日

名字あり

右日本林業表としての法事

院御市も尚と云也陽明の法

右四位五位殿と云ふの時也

此所記りの冊之古事也

以て可なり第恐別紙礼と云

官位は後述の如し

菊亭古府法

一尚時國持事一有給以有徳也

其の四持事官位、不相持也

親族は此代將軍家、十位有之

千内位は此國主准國持位有之

守後、次也、別一任二任、宗敬可

有之、故亦有因筆、故可也

守、位、身、下、存、よ、り、也

各、為、十、位、有、之、古、將軍、

沙、在、下、十、位、有、之、同、國、持

乃、持、國、人、も、有、之、位、事、と、

か、也

大^名た^めい^とと^侍ハ^俗好^者と^官分^限も
 何^れと^云や^大だ^名い^とと^侍ハ^俗好^者と^官分^限は
 早^賤守^りと^も分^限有^とと^云也^守護^とハ
 國^のは^守す^とと^云ハ^國分^とと^云ハ
 内^裏の^勢と^もれ^り事^持め^す
 之^も也^國と^云人^を守^護國^分と^云ハ
 不^云也

考
 正 座右書禮才二目錄

- 一 天台真言と状事
- 一 禅家長老と状事
- 一 西堂と状事
- 一 首座長老と状事
- 一 律宗と状事
- 一 淨土長老と状事
- 一 日蓮宗と状事
- 一 遊行上人と状事
- 一 社僧坊と状事
- 一 僧家宮位と状事

一天正寺之北院寺

上 忘情教旨 一
忘情法旨 二

宛和 院号 一
寺号 二
一 信益房 二

右院寺之院号之宗之寺之寺二
寺号寺之一信正寺之寺之但依修行
号之何之信正寺之寺之也

返托 寺号一 寺号回寺二 四散寺号二
由散口
院号一 寺号下二 寺号回寺中二
寺号中二 寺号回寺中 寺号下 六

右文字より新書といふ事也

一 福家長老の状事

心悟教白一

上布 心悟教白二

心悟教白三

寺号 一

宛不院号 二

号一福光三

右は宗有の寺一寺号中二院号中三

一福光書光の上院号中三

子不敬候事

服付 侍衣圖下 一 佛具淨師 二 侍者淨師 三

乳 元布上三洋書洋儀奇しく古服付り
侍者圖下 其年傳 亦云 洋書 敬中成

右有の侍衣中と云ふ下は古書

書に相又後掲洋向世に書り

の依は存是中一黄紙書取也

服付

詳上

法勅寺

侍者圖下

某

右は初有の寺一寺号小一院付大の寺

打紙は底は目赤信表より書り

如傳也

一西雲卜状事

右大書一為圖象但将字勿偏方之

一首在為至上状事

前堂後堂一為一為

心悟深一

上亦一之深一

不宣教白三

元和

執公首存
執公義

昭の舞一二字何
一字九字何
付之

賢僧之第一 昔席二 玉席三

返札四 教一 寺教二 師教三

右大形多段院我位七人一任作燈

一篇有之 乃爰出列出段一不友

任作燈古亦任人 不任光位有之

任作燈より一 但平人八技居成之

任官任光位 事一 長光西中案ハ

寺号院号と案とす也 平信が号

と云案之 隨我平信の内一寺

任持ホハ亦の証案あり

一律師の状事

此の数字は用者公推して之を當也

上布 心僧法有一
心僧法有二

服付 心僧法中一 智中二

一 毳 首級一 巾級二 巾級三

一 淨土宗心狀事

上布 心僧法一
心僧法二

元布 一 寺

服付 心僧法中一 巾級中二 巾級中三

一 毳 首級一 巾級二 巾級三

一 日蓮宗心狀事

上布 心僧法一
心僧法二

元布 一 寺

服付 心僧法中一 巾級中二

一 毳 首級一 巾級二 巾級三

右千寺亦心僧法之位 毳法用於
肝要也

一 時宗上人狀事 他阿文全意

上布 心僧法一
心僧法二

元布 一 寺

經身 少尚書中一 道學中二

返乳 之級一 中級二 高級三

一 社僧坊上快事

上布 忍信信

元新 長麻坊少僧
捨地院

經身 少同書中

返乳 中級一 高級二

一 宗字之事

宗 天台止云 福聚寺介

庇 日蓮

守 時宗

一 上人等之字之事

聖 天台止云 介

上人 淨土 日蓮 庇 時宗 介

聖 禪

叔尚時僧家止云 經身 古國 止云 介

法師止云 有之 止云 介 叔家 在院の

字 介 止云 藏原 妙云 庇 捨裏 止云 介

寺号 院号 止云 止云 介 介 介 介 介 介 介

尚書省並出世百階道之了管管
示我地領之寺院等之今心振出ハ
頗有之り及後凡

一 僧家官位之事

僧正 官之准 法常 官之准

僧如 官之准 律師 官之准

法中 位之准 法眼 位之准

法橋 位之准 凡僧 位之准

法等之儀及八幡社官僧綱の位地下
田原法中凡僧の位之儀法中凡僧

如願之五位

衣冠江安年中 後宇多院御宇

示 後醍醐天皇御宇 建長年中

大僧正准大國正僧正ハ世中納言

權僧正ハ准冬儀

僧正 位正大 僧如 位少大 律師 位正官

法中 法眼 法橋 任之

元和 寛海大僧正世時 大僧正寛海

世十九也 法中理庵

衣冠ノ有テ簡易ノ通用

不相函之非法礼矣

考 庶右書禮才二目錄

一 右方折紙上中巾之事

一 同裏書品之事

一 上作右方折紙之事

一 目錄注字之事

一 主人貴人之間席中（送男）目錄之事

一 同送女中方表方上目錄之事

一 折紙上中巾之事

一 主人貴人之之間席中（送男）折紙

之事

- 一 同渡女中方表向に折紙之事
- 一 太刀目六之事
- 一 江文之事
- 一 料紙定法之事
- 一 尚祐北に右刀折紙之事
- 一 武正川出物目六之事
- 一 公家方右刀折紙之事
- 一 公方様上秋上箱書付之事
- 一 盃に巻之事
- 一 公方様御法事之儀御番真折紙之事

- 一 神若右刀折紙之事
- 一 番真折紙之事
- 一 借中目六之事
- 一 与奪状之事
- 一 譲状之事
- 一 就官任書出之事
- 一 假名出状之事
- 一 一字出状之事
- 一 我完の元服之時之事
- 一 主人上官中入封之事

一 太刀物 上中下 一 事

上 上番 下番 上中下
中 上番 下番 上中下
下 上番 下番 上中下

棟上 將軍 按圖 家外 共所 之 家
御方 棟上 御方 進上 言未 あり 御方 御方
心 以上 御方 上 言 一 御方 御方 御方 御方
御方 御方 御方 御方 御方 御方 御方 御方

真上中下 苗字 宿 家 名
行上中下 苗字 宿
草上中下 苗字 宿

右 上中下 御方 御方 又 上中下 御方 御方
御方 御方 御方 御方 御方 御方 御方 御方
御方 御方 御方 御方 御方 御方 御方 御方

<p>進上 一寸八分</p>	<p>御太刀 一寸六分 一腰 首</p>	<p>御馬 一寸八分 一疋 鶴毛 以上</p>
--------------------	------------------------------	-------------------------------------

近山 正之 七分

	御太刀	御馬	以上
名字官。	一腰	一疋	

是に右に記す一押後一敷の如く
馬代書亦馬の字を府の意より代何の
書にかりや御筆御のつて筆と云て
これその丸よりわりの身も亦御の
代何上の丸より丸宛りも亦今敷
度は丸の進上は御りも亦御の若
腕の丸の取上と書にかり馬代書
白服直衣は御の御りも亦書に

中

折紙に丸充多時ハ称号友と可也
位を給心也

上
上
草

	御太刀	御馬	以上
名字官	一腰	一疋	

	了	了	了
	一	一	一

或此等 有武作樂以下 是之
 伴信を人 不字の 持て
 亦他家 殿信未 其入り
 一りて 是字の 物入の 心也
 家世の 事也

	馬	馬	馬
	一	一	一

上 是 未 筆 用 之 是 行
 敬 之 是 尚 有 可 有 辭 的
 他人 以下 也

一 上代々奉り物公事

進上

御太刀 正宗

一腰

御馬 鶴毛

一疋

以上

称号官
石象

此等に御守元付不承た刀
上代々奉り馬は御守元馬は
もた刀の路つれくも御守元

一 右刀折紙裏書之事

右御馬代治元年

年月日 御某別

誰振内
名字官殿

右ハ御守元裏書
日ハ下上九下中
以上

御守元
井田

以上

一疋 御馬

一腰 御太刀

進上

<p>右馬代共令百枚 清九年 奉号 右田河内守 月日 一判</p>	<p>右庄判の付元本と 不書義ハ先書ハ 並ニ宛ハ取</p>	<p>子島田井 了心</p>
<p>一疋 御馬 一腰 御太刀</p>		

亦右方損領ノ義小方少ノ限付馬も在存有^レ時右田河内守を
法元年又右ノ中除くも不若也亦其人ノ務系時右田河内守を
依法統と書^レ並判^レ右ノ亦右方損領ノ義小方少ノ限付馬も在存有^レ時
右田河内守ノ義小方少ノ限付馬も在存有^レ時右田河内守を
並ニ宛ハ取

一 上作ノ右方損領事

<p>進上</p>	<p>御太刀 ^{正宗} 一腰</p>	<p>御馬 ^{鶴毛} 一疋</p> <p>以上</p> <p>称号官 名乗</p>
-----------	---------------------------------	--

は道に依付先付ノ義若口上
作^レ右田河内守馬行取ノ馬ノ義も
右方損領ノ義小方少ノ限付馬も在存有^レ時

<p>進上</p> <p>御太刀 <small>長銘守家</small></p> <p>一腰</p>	<p>御馬 <small>鶴毛</small></p> <p>一疋</p>	<p>以上</p> <p>称号官 名乗</p>
--	---------------------------------------	-----------------------------

亦帯々作すし長銘守家太刀
 折紙の夜之洞の紙長銘守家
 王路のくく何くさし書あり
 土紙の折紙折紙の紙とさし折紙
 浜他國の使着して海の前中に
 奇く折紙の紙とさし書あり
 ろれ折紙の表にさしの細く書
 中も墨筆に折紙の腰天國馬正
 栗毛の紙とさし書あり
 一疋の服紙付疋の紙を付はらぬ同前
 自承はあり折紙進一の時、年下
 中事いふ思ふとさし書あり
 古通事の時折紙一腰天國馬
 一疋栗毛の紙とさし書あり

一目録御重之奉

料紙一章

進上	白鳥	鴈	鯛	鱒	海月	已上
二	三	一折	一折	一折	一桶	已上
称号官 名乗						

鳥類と初集載と後書如何
 とも書指添ゆり末に書き
 況今午の而(柱をぬく石好
 車なり有り公名魚(魚好
 小書(柱をぬく中(可書)
 小油(油車有り柱の末(書
 書(り)太(書(紙(り)

料紙一章

鶴	鱈	海老	蛤	已上
一	一	一折	一折	一籠
称号官				

是(苗字(と(陰(一
 同(草(入(書(一(代(如(注
 子(と(幼(や(書(り(一)

進上
綿
糸紅
後子
金襴
呉服
已上

二百把
五十斤
百疋
百疋
十重

是も同

料紙同形

山向花驛舟
長光

一 主人貴人ノ簾中ノ漢男方目源事

赤ん上
白下
たい
たし
さけ
ふか
あたる
上

二
一疋
一疋
二疋
一疋
一疋

漢男方女中ノ物ノ品
紙文字ノりノ常但女中ノ
尺ナリノ名字宿實名
ひつふかともせしまかり

料紙一疋

のり
か糸

一主人貴人（従女中方表向）
 一

白	おひ	ゆ	お梅	やま	た
一	一	一	一	一	一
り	り	り	り	り	り

是女中より里子の書掛り
 亦主人の女中より
 亦女中より進上り
 付、准門にも又女
 の名斗も書掛り
 おひ たい
 ゆき たら
 お梅 さけ
 やま ぶら

一物紙（奉）

進上	万疋	以上
----	----	----

称号官
 名乗

是極（り）
 公家方にも物紙進上り
 奉有りと相見は冊を
 二疋と菊号叙候

後

<p>三六堂のつと た元</p>	<p>上</p>	<p>百部</p>
----------------------	----------	-----------

進之名字を除去
中(七)用也
なり

一 江戸中興人之公願(中)從男方新紙(未)

<p>称号官</p>	<p>万正</p>	
------------	-----------	--

行字

是上輩(も)等輩(も)
但名字を除去なり

	万	
--	---	--

見下筆但等筆下も
用たり二底の内也
心得し等筆に於て
とたり

单字

一主人貴人遊女中万表向一初紙之筆

	万	
--	---	--

女中筆に
男比方用

一 右刀目録之事

進上	御太刀	御小袖	御馬	以上	称号官 名乗
	一腰	十重	一疋		

何れも列物有る所ハ
 数層多しとも次第だ
 刀馬に官に可書入併大
 才ハ之又五五等一ハ
 有之

一 注文之事

進上	一段子	唐布	沉香	唐筵	丁子	己上	称号官 名乗
----	-----	----	----	----	----	----	-----------

進上亦ハ名字官名乗
 午と除中ハ下ハも
 半子なりハ代物作
 功ハ字ハハハハハハハ
 也又何ハハハハハハハ

一 右ノ折紙同目錄并正文亦料紙
 一 一才宛也右ノ中ノ副出状ノ目錄
 一 通達流ノ振とて原文云ハ。紙ノ亦
 亦書状ノ目振書付ル。書洞紙ノ眼
 一 裁目又書目ノ中ノ一書也
 一 高槽紙夫カ折紙同目錄亦相相抄系
 一 成平侍ノ封形ノ紙ノ山形平侍目
 一 陪官位等ノ佐姓并公限亦一人
 一 有ノ下ノ紙ノ紙六位日書ノ紙ノ
 一 高槽紙四カと載ル常ノ料紙紙ノ
 一 一書ノ出状ノ度由法事一

一 料紙定法ノ事

一 武家古ノ紙ノ名子ニ切レシ
 一 書状洞ノ本カ書状ノ本カ天正
 一 文祿比ノ世間名子出状大カ合除略
 一 沈料紙ノ換紙大小ノ在陽信輔公
 一 三條西実隆公ノ尚祿海軍慮公ノ文
 一 以余識者ノ出信院帛時紙進付
 一 洋紙ノ今紙ノ名
 一 料紙長ノ沈平約六倍禁中ノ紙系
 一 紙ノ高ノ然長折ノ一才各流
 一 北面ノ年ノ定信ノ年ノ一才守或

其位位之者司之右法要之紀定也今
 古例此記之者皆如御書位早官早
 位之申道之者之是之必書由時之備也
 之有之申書之者之定之申書之
 位之申書也

一 枕車抄紙之書狀之類之類也
 申一也且位申書之類也

太刀打紙尚法抄車

大納言秀忠御伏見之立成御書之
 禁裏之御進狀抄紙尚法御記
 于執付也

	御馬 一疋	以上
--	----------	----

極行字

上
 品紙之分
 同
 秀忠

御太刀	一腰
御馬	一疋
以上	

元弘三年 將軍秀忠御宗
 内 帝御於紙向秘事 流代 公方御
 例 出送付 調中 也 起 將軍御宗
 宗 有 幸 一 此 堂 上 元 弘 中 也 公 方 御
 公 方 御 宗 有 幸 一 此 堂 上 元 弘 中 也 公 方 御
 中 公 方 御 宗 有 幸 一 此 堂 上 元 弘 中 也 公 方 御
 一 例 文 之 付 也 公 方 御 宗 有 幸 一 此 堂 上 元 弘 中 也 公 方 御
 御 宗 有 幸 一 此 堂 上 元 弘 中 也 公 方 御

從尾張中納言義通御田中事内意長御
 於紙向

御太刀	一腰
御馬	一疋
以上	

義通
 上 畠 第 五 分
 一 寸

関白殿の御書

進上
御太刀 一腰
御馬 一疋
以上
称号官 名乗

一式正行出物目錄之事

進上
御太刀 一腰
御弓 一張
御征矢 一腰
御鎧 一領
御馬 一疋
已上
称号官 名乗

古式正行出物目錄之事
 今以不可得の儀と申す。昔は書事
 して有る糸の色や、牙、位、公、十、イ、タ、ノ
 緒と書事、馬、ノ、漢、有、毛、有、御、書、事
 一、公、家、方、を、口、切、男、之、事
 公、家、方、ノ、書、事、公、家、方、ノ、法、度、ノ、事
 進、了、了、名、守、官、ノ、事、天、正、九、年
 比、南、無、敵、海、軍、兵、衛、隊、御、書、事
 書、事、ノ、事、不、可、得、也、下、ノ、文、字、心、主
 切、亦、按、法、ノ、事、元、正、傳

進上	干鯛
名字官	

一公方標(狀)上(抄)箱書付(事)

望	御馬	御古刀
	一疋	一腰

禁裏(上)
宣胤

公孫(上)

進上(三あり)

一

已上

宣胤

カ名あり(一板)り(抄)及(事)
只(抄)り(事)

進上
御茶 二袋
名字官

二斗より少くも一斗の形也尚祐
相尋ひ処は毎也

進上
御茶
名字官

斗の形也

一斗の形也

進上	御不臺	御折	御樽	已上
	松竹	十合	三荷	
				称号官 名乗

折の合とて奉りて手は換
堅く固く天の御座有る
千丈入折とて奉りて合は有
うねにの合とて
是も後人の出入り合
也一合ハ一斗二合ハ二斗
と記す

一 公方様御法度御執務ノ節御香眞紙奉

料紙一牧

以上	御經 一部	万疋 御香眞
----	-------	--------

二字奉進紙奉

一 神社(太刀折紙奉)

奉獻上	雄劔 一振	龍蹄 一匹	以上
-----	-------	-------	----

称号官
名乗

献上

御帶刀 一腰

御馬 一疋

以上

称号官
名彙

一 香奠打紙之事

万疋 御香奠

上表(一)も進上名字官名彙
に(一)五人分の四申(一)
香奠人教多有(一)村名字
友斗(一)と(一)給心(一)依首(一)
や(一)尤中(一)所(一)ハ(一)文字(一)心
付(一)なり
手(一)祥(一)云(一)立(一)人(一)坐(一)人(一)の(一)佛(一)
よ(一)付(一)く(一)の(一)香(一)奠(一)進(一)上
名(一)字(一)官(一)実(一)名(一)書(一)一(一)概
に(一)か(一)ぬ(一)と(一)云(一)ふ(一)了(一)成(一)ぬ(一)
此(一)礼(一)なり

通用之奉

	御香奠 銀五十枚	
--	----------	--

	御香奠 黄令奉	蠟燭 五箱
--	---------	-------

亦
 之儀に依りて御香奠
 五箱の奉之儀付置在紙
 一枚宛たり

一僧中目録事

進上	御小袖	南條	御樽	已上
五重	五十兩	三升荷		

杯号宿

此瓶等所入何をも別物有るは
小袖あり同に書し

薯蕷類	一折
青海苔	一箱
大和杖	一籠
蒲萄	一折
御指	二枚
已上	

杯号宿

亦
此瓶も上中下
て有る別

一 与奉状之事

然高家与奉状之事者之書
重代之令國進之書惟其先例の如
中付の諸高家於昌員に出奉可為
肝要者也仍其件

天正八年五月吉日 官名案判

除一毛

名字官後

右の事も賞就の如く之を以て
書て為す所之書りも如く之を
呈状也

一 讓状之事

名字一跡之事合讓と祈や
知所該職之事永可存置也
仍讓状也

得

年月日

名案判

名字官後

一 就官任書之事

補任

尚官

大和守

旧官

彈正忠

貞宗

永正拾二年二月旨

奏聞しつたを
但しこれらも
よりおぼし

右多し南官之職名云々の事
能く上包し奉り置候し是上り
押折し申度折候し候時宜し
こ常よりして更南官達は
法也

連く候を公之勞任何に候

の抽勤仕し功奉り尤肝要也

候

本年八月日

信判

名字取

一 候名出候事

候名事共 京 官途共 外 願共云

任松山一家に古例より

仍信字を以て候事 仍

月日

信判

松山無事候

候名候候候候候候候候候候

候名候候候候候候候候候候

候名候候候候候候候候候候

月日

判

松山新之前反

右何處新号之入時之史人宛而之若若不可言

官途之車任譜代副任掃部

作也 地之在

月日 名系判

之秋掃部也

位中任丹後守也 地之在

月日

位中任丹後守也

右二所の内名に史人宛而之若若不可言

手詳云右任官之平大秋之時車之任掃部也

任官叙任之車位

其表之り(車也)右所之除除目也

一字出秋之事

一字之史人宛而之若若不可言

除除目也(上)任官叙任之

用朱作長字令之任官叙任之

之任官叙任之

天正八年

二村信康守

五月吉日

長橋判

右史人宛而之若若不可言

地之在

一字一紙

長字一紙

一紙

年号

月日

判

長字一紙

一字一紙

長字一紙

一紙

子号

月日

判

長字一紙

右一紙

中一紙

左一紙

有

	長	年号又 月日 名系判 中判新九段反
--	---	----------------------------

一字出所賞紙一人ハ上字
 加筆ハ下字ニ至付成紙ハ松原一
 枚折ルノ洞ノ亦依特直文
 之也一可有ク上色ナシ
 上下押折ル

一馬帽子親ノ不元我完ニ付元服

ニ付川合筆致書成ニ付中ノ折花

表名字假名氏実名書要ニ年号同半

表 武田義隆源義政

嘉 年号月日

一主人ノ宿ニ付年

申 右京大夫

細川氏部補高國

ヤ形松原一級ニ付神申ニ云字ニ書ニ付
 右京大夫ニ付リ右京細川氏部補高國
 之書ナリ是ニ付申補ニ付右京大夫ニ付
 の付ヤニ付ニ付花

申 云 席 介

伊 勢 貞 忠

是 云 伊 勢 七 郎 之 中 時 云 席 介 之 弟 中 時 也 氏
七 郎 之 似 名 守 之 上 也 一 上 本 抄 十 九 日
是 也 將 軍 御 関 涉 之 後
禁 裏 之 江 下 入 也 之 中 之 友 人
伊 勢 貞 忠

